

2023年度 入試の 出題傾向

地理

学校法人 河合塾 地理講師 佐藤 裕治

1 はじめに

大学入学共通テストは3年目に入り、複数の資料から思考力・判断力を試す形式、難易度ともほぼ定着したといえる。一方、現行課程ではあと1回を残すのみで、2025年度入試では新しい科目である「地理総合」、「地理探究」で出題されることになり、受験生は地理を選択する場合、『地理総合、地理探究』か『地理総合、歴史総合、公共』のいずれかを選択することになる。国公立大学二次試験や私立大学個別入試における入試科目を『地理総合、地理探究』とするかは大学によって対応は異なるが、「地理総合」の学習項目である、防災や持続可能な地域づくりに関する設問は私立大学でも、意欲的に先取りする形で出題される例がみられた。

2 共通テストの出題傾向

◆出題分野と全体の難易度

地理B（本試）は大問5題で、昨年度と同様に「自然環境と自然災害」、「資源と産業」、「村落・都市と人口」、「地誌」、「地域調査」の各分野からそれぞれ1題で出題された（表1）。全体のマーク数、問題冊子のページ数、図表、写真などの資料の数はほぼ変わらない（表2）。センター試験に比べると、複数の資料を組み合わせ、その判読を求める形式が定着しており、知識だけで即答できる問題はないため、判読に手間取ると時間がたりなくなる傾向は続いている。

今年度は大学入試センターから設問別の正答率が、グラフ形式で初めて公表された。ここではレベル別正答率などの分析のために河合塾の再現答案による正答率（表3）を示したが、公表されたものと大きな違いはみられない。正答率が30%を下回る極端な難問は昨年度の1問から4問に増え、正答率90%以上の問題は1問から4問に増えたが、高得点が難しいという状況は、従来と変わらない。上位層の識別という点ではバランスの取れ

た難易度分布であるが、依然として高得点者の多い世界史などと比較すると科目間の難易度調整が求められる。

大問別でみると得点率のバラツキが少なく、極端な難問がなかった第5問の「地域調査」の得点率が最も高く、

表1 地理B（センター試験本試・共通テスト本試）
出題分野別一覧

	2019	2020	2021		2022	2023
			第1日程	第2日程		
地図と地理的技能						
地理情報と地図					○	
地図と地域調査	◎	◎	◎	◎	◎	◎
自然環境	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地形	○	○	○	○	○	○
気候	○	○	○	○	○	○
植生・土壌	○	○	○	○	○	○
自然災害	○	○	○	○	○	○
環境問題	○		○	○	○	○
資源と産業	◎	◎	◎	◎	◎	◎
農業	○	○	○	○	○	○
林業・水産業		○	○		○	○
エネルギー・鉱産資源		○			○	
資源・エネルギー問題					○	
工業		○	○	○	○	
第3次産業	○	○	○	○		
交通・通信		○	○	○	○	○
貿易・直接投資・援助	○	○	○	○	○	○
人口、村落・都市		◎	◎	◎	◎	◎
人口		○	○	○	○	○
村落・都市	◎	○	○	○	○	○
都市・居住問題	○	○	○	○	○	○
生活と文化、民族・宗教	◎					
文化・衣食住	○	○				
言語・宗教	○	○				
民族・国家	○		○			
地誌	◎	◎	◎	◎	◎	◎
比較地誌	●	●			○	○
アジア	○	●		●		●
アフリカ	○					
ヨーロッパ	○					
C I S	●					
北アメリカ			●			
南アメリカ		●			●	
オセアニア		●			○	
日本						
複合地域	●					
平均点	62.0	66.4	60.1	62.7	59.0	60.5

◎大問のテーマ ●地誌の大問で取りあげられた地域 ○小問のテーマ・地域

表2 共通テストの解答形式と素材形式

	地理A					地理B				
	センター試験	共通テスト				センター試験	共通テスト			
	2020年	2021年		2022年	2023年	2020年	2021年		2022年	2023年
	第1日程	第2日程				第1日程	第2日程			
正誤文判定*1	11	9	13	8	8	7	7	8	5	5
組み合わせ解答	12	18	16	20	18	11	20	18	19	19
図 (内地形図*2)	22 (2)	24 (4)	13 (3)	29 (2)	26 (2)	28 (1)	27 (2)	29 (2)	31 (1)	32 (1)
表	3	4	6	4	4	8	5	3	6	4
写真*3	3 (9)	8 (13)	5 (13)	5 (9)	8 (18)	1 (1)	3 (7)	5 (11)	2 (4)	2 (3)
ページ数*4	28	32	32	32	32	34	34	34	34	34
マーク数	34	30	30	30	31	35	32	30	31	31
平均点	54.51	59.98	61.75	51.62	55.19	66.35	60.06	62.72	58.99	60.46

図・表・写真の数は、問題中のそれぞれの番号の合計に、資料として示されたものを加えた。

*1 組み合わせ形式の正誤文判定を含む。*2 地勢図、地理院地図を含む。*3 かっこ内は写真の枚数を示す。*4 空白のページは含まない。

表3 再現答案による設問別正答率（河合塾調べ）
（2023年度大学入学共通テスト地理B 本試）

問題番号	解答番号	正答率	問題番号	解答番号	正答率
第1問	1	72.7	第4問	20	29.9
	2	58.7		21	73.7
	3	74.6		22	90.6
	4	91.0		23	73.4
	5	81.8		24	75.1
	6	26.5		25	45.3
	7	47.0		小計	65.6
	小計	62.9		26	63.0
第2問	8	86.9	第5問	27	91.2
	9	26.0		28	57.1
	10	68.4		29	58.8
	11	41.7		30	65.9
	12	76.9		31	85.1
	13	54.9		小計	69.0
小計	58.7	合計	63.8		
第3問	14	44.3	注) サンプル数は2695人 (現役生2151人、高卒生544人)。 サンプルの平均点は63.8で、 <u>地理B受験生全体の平均点(60.5)</u> より3.3点高い。 大問ごとの小計、合計は得点率を示す。		
	15	88.7			
	16	52.2			
	17	92.1			
	18	56.2			
	19	28.9			
小計	61.6				

時間をかけて資料をしっかりと読めば正解できる問題が多かった。一方、最も低かったのが第2問の「資源と産業」で、国別の農業に関する統計を扱った問2・問4の正答率が低いのに、きわめてやさしい設問がなかったことも影響している。第1問の「自然環境と自然災害」では、問3の月別・時間別の気温分布の等値線図や、問5の地震の震源の東西方向の位置と深度の分布図、問6の降水量と河川の水位の時間変化の模式図などが、国公立大二次では出題されたことのある図だが、初めて見る受験生にとっては読み取りに手間取り、差がつく問題であった。第3問の「村落・都市と人口」は、高校生が鹿児島県を訪ねたことをきっかけに日本の人口や都市をめぐる諸問題を考えたという地域調査のような場面設定で出題され

たが、設問ごとの難易度に違いがみられ、とくに問6のイギリスにおける外国人労働者の出身国の推移を示した表で、アイルランド、インド、ポーランドの判定は難しかったようだ。第4問の「地誌」はインドと中国に関するもので、地理的に連続する地域としての設問と、両国の違いに着目した比較地誌的な設問で構成されている。問1の濃淡で高度を示した地図中の4地域の耕地、草地・裸地、森林の割合の判定は、高度の違いだけで判断するのは難しく、地誌的な知識が必要となるため、正答率は低かった。受験生の全体的傾向として、さまざまな地図やグラフを判読するスキルはそれなりに身につけてきたと思われるが、統計から個別の国や地域を判定する問題では、地誌的知識の不足から正答率が低くなりがちである。

◆再現答案の正答率からみた特徴

大学入試センターの公表値（以下、公表値）で正答率が最も低かった設問が第1問 問5（例題1）で、正答率は20%を若干超える程度であった。河合塾のセンターリサーチによる正答率（以下、河合塾データ）では26.5%で、正答率が2番目に低かった。河合塾データでレベル別の正答率をみると（表4）、上位層38.3%、中位層22.3%、下位層11.2%とレベルによる差がみられた。中位層、下位層で最も選択率の高かったのが②で、Pに該当するのはタ、Rはチと判断したことがわかる。これは、海溝に沿った狭まるプレート境界で発生する深度の大きな震源を見落としたと思われる。プレート境界と地震との関係がきちんと理解できていれば正解できたはずであり、難問ではあるが学力の識別力のある良問といえる。

一方、河合塾データで最も正答率が低く、公表値でも2番目に低かったのが第2問 問2（例題2）である。さほどの難問とは思えないが、レベルにかかわらず正答率が低く、東アジアに該当するものとして灌漑率の低い

②を選んでいる(表5)。多くの受験生にとって水田と灌漑が結びついていないのかもしれない。

一方、レベル別で正答率が大きく異なり(表6)、学力の識別に有効であったのが、都市化の前後の河川の水位の変化に関する第1問問6(例題3)である。都市化による森林や田畑の減少と舗装の増加で、豪雨の後に河川の水位が急激に高くなり、排出できない雨水が市街地に浸水する内水氾濫が起りやすくなったことが問われ、資料の判読と思考力が試され上位層の中でも差がつく識別力のある問題であった。ハイドログラフを用いた出題は東京大学でも1999年度、2010年度に出題されたことがあるが、このような土地利用の変更に伴い災害を受けやすくなる事例を資料の判読と合わせた問題は、新課程の「地理総合」でも今後出題される可能性が高い。帝国書院教科書『高等学校 新地理総合』では「都市で

《正答率の低い問題》

表4 共通テスト地理B 第1問 問5 6 例題1のマーク率

	①	②	③	④	⑤	⑥
上位層	8.1	17.1	5.5	10.5	38.3	20.2
中位層	12.7	24.1	7.6	14.1	22.3	19.2
下位層	15.8	26.7	11.6	16.4	11.2	18.0
全体	11.5	21.8	7.6	13.1	26.5	19.4

※偏差値：上位層 55.0以上、中位層 45.0～54.9、下位層 44.9以下。
※赤字が正解。

表5 共通テスト地理B 第2問 問2 9 例題2のマーク率

	①	②	③	④
上位層	23.4	47.3	27.2	1.9
中位層	22.2	49.2	24.5	3.8
下位層	18.8	47.3	26.9	6.8
全体	22.0	48.1	26.0	3.7

《差のつく問題》

表6 共通テスト地理B 第1問 問6 7 例題3のレベル別正答率

	レベル	偏差値	正答率
上位層	S	65.0～	78.3
	A	60.0～64.9	60.6
	B	55.0～59.9	53.7
中位層	C	50.0～54.9	46.6
	D	45.0～49.9	38.2
下位層	E	40.0～44.9	31.7
	F	～39.9	26.6

表7 共通テスト地理B 第3問 問3 16 のレベル別正答率

	レベル	偏差値	正答率
上位層	S	65.0～	97.2
	A	60.0～64.9	85.1
	B	55.0～59.9	68.3
中位層	C	50.0～54.9	50.2
	D	45.0～49.9	33.4
下位層	E	40.0～44.9	27.5
	F	～39.9	8.9

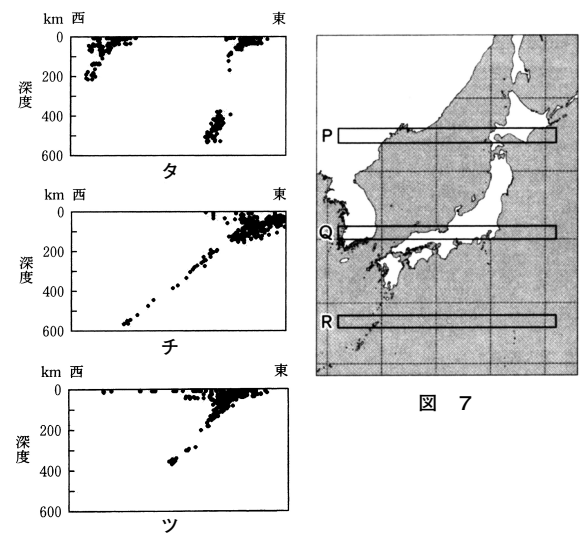
洪水が起こるしくみとその対策」が、図解で示されている(p.208 3)。

さらにレベル別で正答率の差が大きかったのが、第3問問3である(表7)。地理院地図で鉄道、道路、市役所などのみ示した地方都市(都市名は伏せているが、薩摩川内市である)の3地点の景観の変化に関する会話か

■例題1 共通テスト地理B 第1問 問5 6

問5 次の図6中のタ～ツは、図7中のP～Rのいずれかの範囲において発生した地震*の震源について、東西方向の位置と深度を示したものである。タ～ツとP～Rとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

*2012～2020年に発生したマグニチュード3以上の地震。



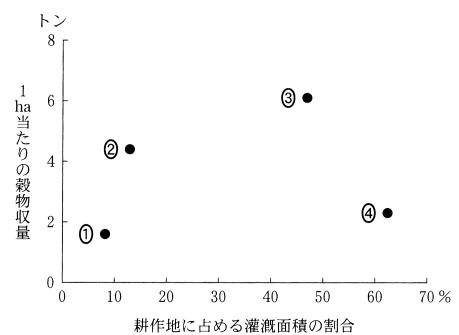
USGSの資料により作成。

図6

	①	②	③	④	⑤	⑥
タ	P	P	Q	Q	R	R
チ	Q	R	P	R	P	Q
ツ	R	Q	R	P	Q	P

■例題2 共通テスト地理B 第2問 問2 9

問2 次の図2は、いくつかの地域における耕作地に占める灌漑面積の割合と、1ha当たりの穀物収量を示したものであり、①～④は、アフリカ、中央・西アジア、東アジア、ヨーロッパのいずれかである。東アジアに該当するものを、図2中の①～④のうちから一つ選べ。 9



統計年次は2017年。AQUASTATなどにより作成。

図2

■例題3 共通テスト地理B 第1問 問6 7

問6 次の図8は、日本の都市内を流れる小規模な河川について、短時間の豪雨の降水量と河川の水位の変化を模式的に示したものであり、凡例XとYは、都市化の前と後のいずれかである。また、後の文章は、図8に関することがらについて述べたものである。空欄マに当てはまる語句と、空欄ミに当てはまる文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 7

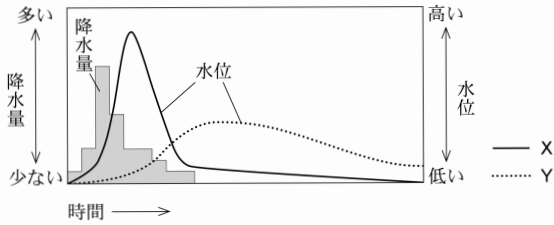


図 8

雨の降り方が同じであっても、都市化の前と後では河川の水位の変化が異なり、都市化によって(マ)のように変化する。これは、(ミ)ことが主な要因である。

(ミ)に当てはまる文

- m 河道が改修され、遊水地や放水路が造られた
- n 森林や田畑が減少し、地表面が舗装された

	①	②	③	④
マ	XからY	XからY	YからX	YからX
ミ	m	n	m	n

ら地点を判定するもので、地形図に比べると情報を減らした地理院地図で各地点の特徴(衰退する中心商業地区、新興住宅地、郊外の幹線道路沿い)を判断し、景観の変化を考えるもので、上位層にとってはわかりやすい問題だが、下位層にとっては中心部の位置や各地点の特徴が把握できなかったようだ。学力の識別力があり、地図を使った学習ができていたかを見分ける良問といえる。

◆工夫された組み合わせ解答形式や資料の提示形式

今回の共通テストでは、センター試験では多くみられた文章だけの正誤判定はみられず、資料の判読と組み合わせた形式にすることで、知識に偏重しない工夫がなされている。また、第4問 問2では、作付総面積に占める米と小麦の割合を示す図を4つに分け、各行政区がいずれに当たるかをパターンで塗り分けて示す、共通テストでは初めての表現方法がとられた。一方で、これらの問題は、判読に時間がかかり受験生にとっては負担が大きいうえ、あとで見返すと間違えるはずではなかったのという悔いの残る問題となることも多い。

3 国公立二次・私大の出題傾向

◆地理院地図を活用した問題

「地理総合」では、地理情報システムを活用すること

が求められており、帝国書院教科書『高等学校 新地理総合』p.22～23では地理院地図の利用について詳しく解説しているが、今年度の入試問題でも地理院地図から作成した図や引用した資料に関する出題が多くみられるようになった。これらは自然災害や防災と関連させた形式で出題されることが多く、今年度の共通テストでも地理A(本試)第1問 問4・問5、地理A(追試)第

■例題4 東京大学 第1問 設問A

設問A 地球の地質時代は、地層に残された地球規模の変化の証拠によって区分される。たとえば、今から約6600万年前の白亜紀の終わりは、地球に隕石が衝突したために高濃度のイリジウムが含まれる地層と、恐竜などの生物が大量に絶滅した層準で定義される。人間活動が、地球に対し地層にも残るような広範なインパクトを与えていることから、現在を「人新世」という新しい地質時代に区分する提案が、最近なされている。人新世のはじまりの時期は、16世紀とする意見、18世紀後半とする意見、1950年代とする意見などがあった。いずれの時期を人新世の開始とするにしても、全地球的な証拠が地層中に残されることが必要であることに留意して、以下の問いに答えよ。

(1) 人新世の開始時期を16世紀とする意見は、それまで別の地域に分かれて分布していた動物や植物が、この時期に全地球的に広がったことが、湖の堆積物や遺跡の記録から明らかになったことに基づいている。どのような動物や植物が、どのような過程で全地球的に広がったのか。具体的な動物と植物の例を1つずつあげて、2行以内で述べよ。

(2) 人新世の最初の提案は、その開始時期を18世紀後半とするものだった。しかし、この案はその証拠が全地球的に同時期に起こったわけではないことから、候補からはずされている。開始時期を18世紀後半とする意見は、どのような人間活動と証拠に基づくものであったのか。2行以内で述べよ。

(3) 人新世の開始時期について検討した地質学者のグループは、放射性物質のピークが地層中に認められることから、開始時期を1950年代とする提案をまとめた。1950年代に放射性物質のピークが現れる理由を、1行で述べよ。

(4) 図1-1のA～Cは、人新世の地層に残る可能性のある、人間が作った物質の、積算生産量を示したグラフである。いずれも1950年以降急激に増加していることが分かる。3つは以下のどれか、A～Cのように答えよ。

アルミニウム コンクリート プラスティック

(5) (4)の物質は、いずれも経済活動の加速によって1950年以降生産が急激に増加した。このうち、プラスチックの生産の増加がひきおこした環境問題を2行以内で述べよ。

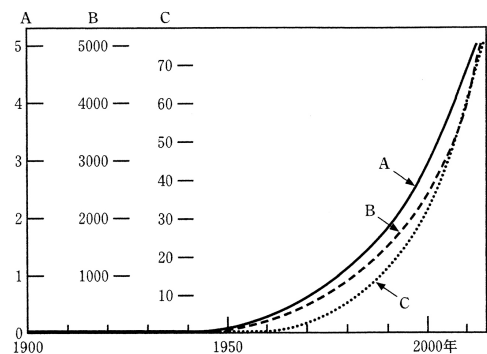


図1-1

人間が作った3つの物質の積算生産量。縦軸の数字の単位は億トン。A、B、Cそれぞれのスケールは異なっている。Watersら(2016)による。

1問 問5などで地理院地図から作成した地形分類図や陰影起伏図をもとに自然災害のリスクや避難経路に関して出題されたが、私立大の入試問題でも、新課程を先取りするような意欲的な問題が少なくなかった(表8)。駒澤大学、明治大学の問題はいずれも、地理院地図に示された自然災害伝承碑と自然災害のリスクに関する問題だが、2022年11月に公表された『地理総合、地理探究』試作問題第2問では、自然災害伝承碑の碑文からどのような災害が発生したかを判断し、それが設置されている場所を地理院地図から選ぶ問題が出題されている。探究型の授業を反映した入試問題として、新課程の「地理総合」分野ではこうした地理院地図を活用した出題形式が多くなると予想される。

◆地理にかかわる新しい考え方を出题

人間活動が地球の地層にも広範な影響を及ぼしているとして提案された「人新世」は、今年7月に国際地質科学連合の人新世作業部会が1950年ごろを境に急拡大した人間活動の痕跡を読み取る模式地にカナダの湖を選んだと発表し話題になった。もちろん教科書にはまだ取りあげられていない人新世に関する東京大学の問題(例題4、表9)は、受験生や高校の地理教育に携わるものに戸惑いを感じさせたかもしれない。しかし、問題で問われた内容は、近現代の世界史の基本的な知識は必要ではあるが、現在の地理の学習で十分に対応できるもので、思考力と「地層中に残された証拠」に留意した表現力が試される良問であった。一方、愛知教育大学(表9)では、大地形の成因にプレートテクトニクスの考えが教科書に

も反映されることで、教科書の記述内容も変化していることに関する出題であった。2022年度の早稲田大学(教育)でも高等学校の教科書の問題点を指摘した論文*から引用した文章に基づく出題がみられた。いずれも教育学部の入試問題であることを考えると、見方・考え方の変化により教育の現場が戸惑いを感じていることを反映したものとも推察できるが、設問の内容としては違和感のないものであった。地理の入試問題は単に知識を問うだけでなく、新しい動きや考え方にも柔軟に対応できる力を試そうとするものも少なくないといえる。

4 論述問題の形式・テーマと対応策

表10は、国公立大学の論述問題について、設問ごとのテーマ、全体の分量、設問ごとの字数を示したもので、大学によってかなり異なるが、大学ごとでみると例年と大きな変化はみられなかった。論述問題の形式は用語の説明などの単純なものもあるが、分布図などの資料をもとに地理的事象の地域的な違いの要因を答えさせたり、経年変化を示す図表を用いて変化の背景を説明させたり、客観式の問題と組み合わせ、その判定理由を説明させるなど思考力と表現力を試す形式が多い。資料を用いたり、解答の文章で使用する語句を指定したりすることで、解答の方向を示して採点しやすくする工夫がなされている。こうした論述問題への対策には、多様なテーマについての的確な資料を示し、コンパクトな解説を添えた『新詳地理資料 COMPLETE』の活用がきわめて有効である。

表8 地理院地図を活用した問題

大学	問題番号	設問内容
立命館大学 (全学統一)	I [5] ~ [8]	基盤地図情報の基本項目を判定する。空中写真の撮影時期の順番を判定する。等高線図(20m間隔)から断面図や傾斜角を判定する。標準地図に水害ハザードマップ、人口地図、指定避難所の地図を重ねその読み取りの正誤を判定する。
獨協大学 (2/2実施)	① 問4・問5	地理院地図で作成した鳥瞰図の方向を判定する。地形図と地形分類図から地形の特徴と災害のリスクを読み取る。
東北学院大学 (2/1実施)	3 問3	地形図から地理院地図で作成した陰影起伏図、傾斜量図、段彩図を判定する。
駒澤大学 (2/6実施)	問題I 問4~問13	地理院地図の陰影起伏図に災害の種類(火山災害、津波、高潮、洪水、土砂災害)ごとの自然災害伝承碑の分布を重ね合わせた図から、その判読や災害の種類を判定する。
明治大学 (全学部統一)	[I] 問6	岩手県宮古市にある自然災害伝承碑の津波について述べた碑文の一部を読み、それに続く教訓にあたる文を選択する。

表9 地理にかかわる新しい考え方を出题

大学	問題番号	設問内容
東京大学	第1問 設問A	「人新世」という新しい地質時代の区分の提案で開始時期を16世紀、18世紀後半、1950年代とするそれぞれの意見の根拠やその影響などを答える(例題4)。
愛知教育大学	I 問5	教育実習の教材研究のため1980年代の教科書と今の教科書を比較し、地形環境の項目が異なっていることに気づくという場面設定で、大地形の成因に関する考え方が変化した理由と将来も教科書が変化することをふまえ、教員として社会科を教える際に、どのような姿勢で臨みたいかを述べる。

*岩田修二(2013):高校地理教科書の「造山帯」を改訂するための提案 E-journal GEO Vol.8 (1)

表10 国公立大二次の論述問題の分量とテーマ：その1 (2023年度)

	論述 問題数	総字数	1題あたり 平均字数	テーマ (設問内容)
北海道 大学	12	700字 程度	60字 30～90	<p>▶ある都市の2つの地区(都心に近いA、都心から離れた場所のB)の年齢別人口(2000年、2020年)グラフから、この都市で起こっている人口の変化を説明。▶地形図読図 [河岸段丘面上の地点が段丘崖下の地点に比べてもっている利点を述べる]。▶統計情報を表やグラフではなく地図として表現する場合の利点を述べる。▶ブラジルの鉄鉱石の産地を述べた文中の下線部「露天掘り」を簡潔に説明。▶ブラジルの赤色土壌のラトソルに養分が乏しい理由を自然環境に注目して説明。▶南アメリカ大陸の南緯12度付近の東岸と西岸のハイサーグラフから気候の違いが生じる理由を説明。▶フェアトレードとは何か説明(指定語句:賃金、不平等、自立)。▶EUの東方拡大がEU域内にもたらした経済的影響を述べる。▶ソ連の計画経済からロシアの市場経済に転換することによりロシアで生じた社会経済問題を述べる。▶さまざまな国・地域から移民を受け入れてきたアメリカ合衆国を例えた「サラダボウル」の説明。▶2000年代以降アメリカ合衆国を中心に生じたエネルギーに関するシェール革命が何かを説明。▶1994年のNAFTAの成立によりこの地域で生じた経済的变化を説明。</p>
筑波大学 (生物資源学 類、地球学 類)	3	800字	270字	<p>▶地形図読図 [地形図と陰影起伏図から、この地域(滋賀県五箇荘駅周辺)の集落と土地利用について、地形との関係に着目して説明]。▶太平洋の赤道付近のある月の海面水温の年差を示した図でみられる現象について、この現象が生じているときの海水温と海上風の東西断面を平均との違いがわかるように図に記入し、この現象の特徴を発生要因も含めて説明。▶OECD加盟の6カ国の外国人の流入および流出人数をその国の総人口に占める割合(2000年、2008年、2016年)で示した表から、オーストラリア、韓国、ドイツを判定した上で、それぞれの国の国際人口移動にみられる特色とその要因を説明。</p>
筑波大学 (生物資源学 類以外)	4	1600 字	400字	<p>▶地形図読図 [新旧の地形図(埼玉県荒川と入間川の合流点付近、1967年、2018年)を読み、集落立地、土地利用、およびそれらの変化を地形の特性や人間による地形の改変と結びつけながら説明]。▶地球上の主な貯水体における貯水量と入れかえ時間、世界全体の水利用に占める割合を示した表を参考に、各貯水体の水資源としての特徴を説明(指定語句:枯渇、費用、偏在)。▶世界の三大宗教にもとづく休日の有無を国・地域別に示した地図から、それぞれの分布や重なりにみられる特色を指摘して、その地域的背景について説明。▶ヨーロッパの5カ国の農業生産に関する統計数値を示した表から、イギリス、スペイン、デンマーク、フランスを判定し、ヨーロッパ全体の農業にみられる地域の特徴を説明(指定語句:気温、丘陵地、降水量、平野、酪農)。</p>
東京大学	17	990字	60字 30～90	<p>▶人新世の開始時期を16世紀とする意見はこの時期の動物や植物が全球的に広がったことに基づくが、どのような動物や植物がどのような過程で全球的に広がったか、具体的な動物と植物の例を1つずつあげて述べる。▶人新世の最初の提案は、開始時期を18世紀後半とするものだったが、その証拠が全球的に同時期に起こったわけではないことから候補からははずされた。開始時期を18世紀後半とする意見は、どのような人間活動と証拠に基づくものであったかを述べる。▶1950年代に放射性物質のピークが地層中に認められた理由を述べる。▶地層中に1950年代以降急激に増加したアルミニウム、コンクリート、プラスチックの積算生産量を示したグラフを判定し、プラスチックの生産の増加が引き起こした環境問題を述べる。▶南アジアにおける林野火災の分布図をもとに、地図中の地域(パンジャブ)で林野火災が、5月と11月に極大となる理由を、この地域で行われている人間活動と関連づけて述べる。▶PM2.5などの粒子状大気汚染物質が、ヒマラヤ山脈中腹まで達し、特に6月～9月に顕著になる理由を、林野火災以外の年間を通してみられる汚染物質の発生源と気候条件に関連させて述べる。▶1990年～2020年にかけて全世界の水産物の養殖生産量に著しい増大がみられた背景を、水産物の需要・供給の両面に注目して述べる。▶今日の水産物養殖業が抱えている、持続性におけるさまざまな課題と、解決に向けた取り組みを述べる(指定語句:稚魚、生態系)。▶中国の小麦の単位収量が1980年代前半に急激に増加した理由を述べる。▶ハンガリーの小麦の単位収量が1990年代に大幅に低下した理由を述べる(指定語句:農業補助金削減、肥料)。▶中国で国内価格の下落により1997年から2003年にかけて小麦の生産量が約30%減少するが、その後の17年間で約55%増加した政策的な背景を述べる(指定語句:食料安全保障、肉類消費)。▶地形図読図 [2014年に自然災害が発生した地域の2022年の地理院地図(地名は削除されているが広島市安佐南区)をもとに、山地にみられる土地被覆に関する2種類の地図記号(針葉樹林、荒地)と地形との対応関係を説明。自然災害後に建設された人工構造物(砂防ダム)の目的を、前問の土地被覆(荒地)の成立要因、自然災害の特徴と合わせて述べる。この地域で災害リスクの高い土地でも1970年代以降宅地化が進んだ理由として考えられることを述べる]。▶北海道と沖縄県の都市部では平らな屋根の住宅が多く見られるが、それぞれの理由を気候に関連づけて述べる。▶日本の住宅構造は、1978年には木造が81.7%であったが、2018年には非木造が43.1%に上昇している。非木造住宅の割合が上昇してきた理由を人口移動の特徴もふまえて述べる。▶日本の住宅総数と空き家率の推移(1973年～2018年)を示したグラフをもとに、住宅総数は長期的に増加を続けてきたが、近年空き家率の上昇が著しい理由として考えられることを述べる(指定語句:世帯規模、地方圏、高齢化)。</p>
東京学芸 大学	8	800字 程度	100字 程度 60～ 200	<p>▶日本付近の4枚のプレート境界を示した図をもとに、プレートとの関係(地体構造)をふまえた日本列島の地形と特色を説明(指定語句:弧状列島、西南日本、フォッサマグナ)。▶扇状地と三角州における自然発生的な集落の立地条件について、水との関係をふまえて説明する(指定語句:自然堤防、水害、扇端、扇頂)。▶扇状地の扇状で液状化現象が発生する可能性は低いと考えられる理由を、液状化現象の発生メカニズムをふまえて述べる。▶河川の両岸にみられる河岸段丘の形成過程と、段丘面が沖積低地に比べ水害に強い土地であるといわれる理由を説明。▶アメリカ合衆国、イギリス、韓国、日本、フランスについて、主要な食料の輸入量とその平均輸送距離を示したグラフに基づき、日本の食料輸入の特徴と課題を説明。▶東京都の居住地域別にみた女性の雇用者数に対する女性の正規職員・従業員数の割合を示した地図をもとに、東京の郊外の地域において、働く女性のうち正規の職員・従業員として働く人の割合が低くなる理由を説明(指定語句:都心に立地する勤務先の理解、都市域が拡大、保育園)。▶サハラ砂漠南縁に位置するサヘル気候環境の特徴と、サヘルで砂漠化が進行している主な要因・背景を説明。▶サハラ以南アフリカに位置する多くの国の経済低迷や食料不足が続く要因・背景となった「モノカルチャー経済」の特徴と問題点を説明(指定語句:一次産品、プランテーション、輸出)。</p>
一橋大学	9	1200 字	130字 100～ 150	<p>▶ウガンダ・カンバラ市において、空き地などを不法占拠しての耕作で取り締まりの対象とされることが多い住宅地を、4つのタイプの住宅地の土地所有率と耕作地の位置を示した表から選び、そう考えた理由を説明。▶日本で、コンパクトシティの形成を進めようとする政策などによって都市農業が促され、都市と地球環境の持続可能性はいかにして高まると考えられるかを、コンパクトシティ形成と関連させながら説明。▶都市農業が社会的課題の解決に役立つと考えられている理由を、問題文で解説されたトロントの例を用いながら、移民が直面する問題の社会的な性格と、都市農業がそれをどのように解決するかに言及して説明。▶アフリカとラテンアメリカにおける流域面積最大の河川名をそれぞれあげ、その大河周辺の環境への開発の影響を比較し、2地域の開発目的の違いとグローバルな共通の課題を説明。▶ケニアのナイヴァシャ湖周辺で輸出向けの花弁産業(バラ栽培)が発展した要因と環境問題と対策について説明。ウユニ塩原周辺に埋蔵されているレアメタルの鉱種と主な用途を答え、この国独自の資源開発の状況を説明。▶2016年に初めてパナマ運河を通過した日本向けのLNG船の出航国を答えるとともに、この国から運河を通航して輸入することは日本にどのような利点があるかを説明。スエズ運河とパナマ運河の2007年と2017年の通航状況を示した表をもとに、両運河の拡張によって通航貨物はどのように変化しているかを論じる。▶大人が想定していない場所が子どもの遊び場となる事例として、日本国内で考えられる場所の具体的な例を一つ取り上げ、都市構造の変化によって子どもの遊び場がどのように変質してきたかを説明。▶ノルウェーの子どもの余暇活動の2回の調査の結果を示す表をもとに、子どもの余暇時間の使い方の変化と2回目の調査時点で「組織的活動」「外遊び」「友人訪問」の3つの余暇時間の使い方が相互にどのように関係しているかを説明。▶インドネシア・ジャカルタ中心部にある性格の異なる2つの住宅地における、小学生の遊び場と小学生の近隣とのかかわりを示した表から読み取ることで、両住宅地の違いを居住環境の違いと関連づけながら説明し、続けて子どもの遊びを計画と秩序のなかに取り込むことには注意が必要なることを、ジャカルタの事例から論じる。</p>

表10 国公立大二次の論述問題の分量とテーマ：その2 (2023年度)

	論述問題数	総字数	1題あたり平均字数	テーマ (設問内容)
新潟大学	8	580～760字	80字程度 20～200	▶地図中の海域(北海)に多くの風力発電設備が設置されている背景を、海底地形と風の状況に留意して述べる。 ▶再生可能エネルギーを活用して化石燃料への依存度を減らすことが、エネルギー安全保障を強化すると考えられている理由を説明。 ▶世界の空港の貨物取扱量、国際線の乗降客数、発着機数の上位5位までを示した表から、国際線の乗降客数に該当するものを選び、その理由を述べる。 ▶モーダルシフトの例として、長距離トラック貨物輸送を船舶や鉄道で代替する取り組みにより期待される効果について、自動車輸送の問題点に留意しながら説明。 ▶地形図読図(地形図(兵庫県三田市)中に枠線で示された範囲の土砂災害の警戒区域ハザードマップから、可能性の高い土砂災害がどのように発生するかを説明。地形図中に示された場所にある倉庫の写真から、その場所に立地する理由を述べる。三田市の鉄道網整備に関する年表と地形図から、市街地がどのように拡大したかを説明(指定語句:丘陵地、城下町、鉄道駅)。地形図中に示された地区(新興住宅地)と三田市全体の高齢者の割合の推移を示したグラフから、市全体より高齢者の割合が急激に高くなった理由を説明)。
信州大学	2	400字	200字	▶地形図読図(地理院地図の陰影起伏図(静岡県安倍川河口から三保松原付近)から、図中の海岸線と平行な土地の高まり(海岸砂丘)と半島(砂嘴)の地形の形成について説明(指定語句:沿岸、Q川、東北東、土砂の供給、波))。 ▶アフリカの6か国(チュニジア、ニジェール、ナイジェリア、南スーダン、ケニア、南アフリカ共和国)について、国の概況(主要言語、主な宗教、独立年月、一人あたりGNI)を示した表から、該当する国の位置を地図から選び、そのように判断した理由を説明。
愛知教育大学	8	1200字程度	150字程度 60～300	▶高校地理の教科書の大地形の成因に関する説明が、昔と現在で変化していることに関する会話文をもとに、天山山脈が高くけわしい山脈となった仕組みを説明(指定語句:プレート、褶曲、準平原)。▶教科書の大地形の成因に関する考え方が変化した理由を述べ、さらに将来、教科書が変化することをふまえて、教員として社会科を教える際に、どのような姿勢で臨みたいと考えるか、自分の考えを述べる。 ▶北アメリカと西ヨーロッパに典型的に見られる都市景観のモデル図をもとに、両地域の都市景観の違いが生じる理由を説明。 ▶1950年、1975年、2010年における日本の都市(圏)を、x軸に順位、y軸に人口規模で10位まで示したグラフを見て、第二次世界大戦後の日本にどのような変化が生じたかを、日本の実質GDPの前年度比の推移を示したグラフも参考にしながら、その背景も含めて説明。 ▶新型コロナウイルス感染症の拡大によって、都市空間にどのような変化がもたらされると考えられるか述べる(指定語句:大都市圏、都心部、オフィスビル、地方移転、リモートワーク)。 ▶ヴィクトリア湖と比較して、タンガニカ湖の水深が深い理由を説明。 ▶アフリカの河川に滝と急流が多い理由を説明。 ▶3つのグラフ(1950年から2100年の世界と地域別人口の推移、2010年と2015年の対アフリカ投資残高上位国、アフリカの対世界輸入品目のシェア)をもとに、アフリカの将来性や問題点について説明(指定語句:人口増加、投資、モノカルチャー、食糧問題、商品作物)。
名古屋大学	14	1200字程度	90字程度 30～150	▶世界と日本の河川の河床縦断面図をもとに、日本の河川の特徴を世界の河川と比較して説明。 ▶地形図読図(天竜川(支流を含む)周辺の支流・中流・河口の地形図をもとに、上流の地形(V字谷)の形成過程を説明。中流の土地利用を地形(河岸段丘)と関連させて説明。河口付近の海岸に離岸堤が設置された背景を、流域の開発の観点を含めて説明)。 ▶5か国(中国、インドネシア、日本、アメリカ合衆国、ペルー)の養殖による水産物生産量を示した表で、海面養殖、内水面養殖、汽水面養殖を判定し、その判断理由を説明。 ▶エルニーニョ現象について説明(指定語句:海水温、海流、南東貿易風、湧昇流)。 ▶ペルーの漁獲量のほとんどを依存する特定の魚種の名称を答え、それがどのように加工され、何に利用されるかを説明。 ▶東アジアとヨーロッパの間の海上輸送で、ベリング海峡を通る航路の利用が可能になった理由を気候変動と関係づけて説明。 ▶スエズ運河を通る航路で生じている航海の安全を脅かす問題について、具体的にどこで、どのような問題が発生しているかを説明。 ▶日本の輸入上位相手国を示した表中のa国(アメリカ合衆国)との貿易摩擦を背景に、1980年代半ば以降日本企業の生産拠点の配置がいかに変化したかを説明。 ▶b国(オーストラリア)からの主な輸入品の割合を示したグラフに示された2品目(石炭、鉄鉱石)のb国における産出地の地理的分布の特徴を述べる。 ▶c国(オーストラリア)がアジア地域との経済関係を強めている背景を述べる(指定語句:移民、旧宗主国、距離、EC)。 ▶d国(中国)が2000年代以降日本最大の貿易相手国となった背景を述べる(指定語句:工場、賃金、日本企業、輸出)。 ▶日本、中国、d国(韓国)の新造船建造量の推移を示したグラフをもとに、1980年代から1990年代にかけてのd国の建造量の推移の背景を説明(指定語句:経済協力、工業化政策、重工業、輸出指向)。
京都大学	16	600字程度	35字程度 20～60	▶ヨーロッパの地図に示されたQ(エルベ川河口)の地形の成り立ちについて、P(ノルウェー沿岸)との共通点と相違点を述べる。 ▶E国(デンマーク)における再生可能エネルギーを利用した発電方法とそれが採用されている自然環境的な要因を述べる。 ▶C国(スウェーデン)の北端付近で採掘される鉱産資源の名称を答え、主に冬季の積み出しに使われる港を選んで、その理由を述べる。 ▶南アメリカの地図中のA地域(アンデス高地)とB地域(アマゾン川付近)の植生と生業の特徴を述べる。 ▶B地域で「土地なき人を、人なき土地へ」の政策を掲げる背景の1つとなっている都市問題について述べる。 ▶日本と世界の5か国の産業別就業人口割合の変遷を示した三角グラフをもとに、B国(中国)において、飲食店などで現金に代わってとられるようになった支払い方法について述べる。 ▶A国(インド)で、近年自動車産業やICT産業の工場が集まる地区に大規模な商業施設がつくられる動きは、同国の消費者のどのような変化を反映したものをか述べる。 ▶E国(アメリカ合衆国)で、20世紀半ばから郊外につくられるようになった大規模な商業施設の名称と、その立地と施設に関する特徴を述べる。 ▶日本で、商店街はその商圏の広さから、近隣型、地域型、広域型に分けられるが、それぞれの種類の商店街で扱われる商品の違いについて述べる(指定語句:買い回り品)。 ▶日本のある地方中心都市と周辺自治体における小売販売額の推移を示したグラフをもとに、この地方中心都市で市民に長く親しまれてきた百貨店が閉店することになった理由を述べる。 ▶西アジアの地図に示された民族W(クルド人)の居住地の地形的特徴と、約3000万人の人口にもかかわらず独立した国家をもっていない理由について、地図からわかることを述べる。 ▶地形図読図(球磨川河口の5万分の1地形図とその中心市街地周辺の昭和40年と平成23年の2万5千分の1地形図をもとに、中心市街地の西側の土地が人工的な土地造成に適していた理由を、自然環境の観点から述べる。造成地土地の標高に着目し、どのような方法で造成されたかを説明。3つの大型工場に共通する立地を、当時の市街地との関係および交通の観点から述べ、新旧の地形図を比較し工場をめぐる輸送環境の変化について説明。江戸時代に都市の中核であった地域に集まる施設を2つの機能に分類し、それぞれの機能に対応する地図記号をあげて説明。3つの大型工場以外に工場が集中している地区について、その立地と交通上の利点を述べる)。
大阪大学	7	950字程度	140字程度 50～250	▶アフリカの国・地域ごとにウシの頭数を示した図形表現図をもとに、その分布の特徴を自然環境との関係に言及しながら述べる。 ▶チベット・ヒマラヤにおけるウシの牧畜の特徴がアフリカと異なる点を、自然環境の違いを考慮して説明。 ▶アンゴラとエチオピアにおける実質GDP成長率の推移を示したグラフをもとに、図から読み取れる両国の経済の推移とその背景を述べる(指定語句:人口、労働力、海外企業の誘致、資源への依存、原油価格)。 ▶サハラ以南アフリカで紛争鉱物(紛争地域で採取される鉱物の資金源となる鉱物)を規制することが困難な理由を説明。 ▶地形図読図(安道湖と大橋川の一部の地形図をもとに、汽水湖の特色を述べる。地形図中の城下町(松江市)を例に、日本の近世の城下町の防衛機能について述べる(指定語句:城、堀、水路、道路形状、寺院、町割り)。地方都市の中心商店街の衰退要因について、地図から読み取れる事項を盛り込んで述べる)。

表10 国公立大二次の論述問題の分量とテーマ：その3 (2023年度)

	論述 問題数	総字数	1題あたり 平均字数	テーマ (設問内容)
九州大学	6	1080 字	180字 120～ 200	▶ 19世紀後半から現在までのアメリカ合衆国北東部と五大湖沿岸における工業地域の形成とその変化について述べる (指定語句：自動車産業、先端技術産業、炭田)。▶ 1970年以降、フィレンツェやヴェネツィアを囲むイタリア中部から北東部の地域に集積している産業およびその生産方式の特徴について述べる。▶ 多国籍企業による分業体制やそれが地域に及ぼす影響、近年におけるその変化について述べる (指定語句：研究・開発部門、現地化、発展途上国)。▶ アマゾン地域とアンデス山脈における伝統的な自給的農業の特徴について述べる。▶ 大土地所有制 (ラティフンディオ) の特徴とそれがラテンアメリカの社会構造に与えた影響について述べる。▶ 20世紀後半以降のブラジルにおける農業生産の変化とそれが社会に及ぼしている影響について述べる (指定語句：アグリビジネス、カンボ・セラード、ファベラ)。
長崎大学	9	1000 字 程度	120字 程度	▶ ツンドラの植生上の特徴を説明。▶ 宿場町における宿泊以外の主要な施設名1つを含め、宿場町が成立した理由を説明。▶ 4か国 (アルゼンチン、エジプト、フランス、ポーランド) の人口の自然増加率と都市人口率を示したグラフから、ポーランドに該当するものを選び、なぜポーランドがこうした値を示すかを説明。▶ ヨーロッパの国際観光収支の黒字額上位5か国と赤字額上位5か国を示した表の赤字額上位国がいずれかを判定し、赤字額上位国は黒字額上位国と比べて地理的にどのような特徴があるかを説明。▶ 東南アジアにおけるアブラヤシ、コーヒー、サトウキビ、バナナの主要な栽培地域を示した地図をもとに、アブラヤシに該当するものを選び、東南アジアにおけるアブラヤシの栽培を自然環境と経済の両面から説明。▶ 地形図読図 [茨城県の太平洋沿岸 (ひたちなか市) の地形図に示された5地点の付近の地形を明示して、この地域の地形と土地利用の関係を説明]。▶ 明治以降の日本において鉄鋼業の立地はどのように変化してきたかを、具体的な地名をあげながら説明。▶ 近代以降の南アジアから域外への移住について、主な移住先 (地域または国)、移住の理由を明示して説明。▶ 三大都市圏と非三大都市圏における中学生の親の学歴・世帯収入、学校の設置者種別通学者割合、公立中学生の地域別通塾率を示した表をもとに、地域別に見た公立中学生の学習塾に通う率にどのような傾向があるかを述べ、その傾向がどのような理由に基づくと考えられるかを説明。
高崎経済 大学 (前期)	9	700字 程度 (推測)	80字 前後 (推測)	▶ 地形図読図 [滋賀県「海津」の図幅をもとに、なぜ扇状地では扇端部で水が得やすいかを、扇状地の地形的・地質的特徴をふまえて説明。図中の範囲B (扇中部) で読み取ることでできる特徴的な土地利用とその理由を説明。百瀬川に一定間隔で設置されている人工物を具体的に答え、設置されている理由を説明]。▶ 1980年代に大規模なリゾート開発をおこなった地域では、バブル経済期以降にどのような問題に直面したか答える。▶ スリム観光客に向けた受け入れ側の配慮を説明。▶ 2019年末に発生した新型コロナウイルス感染拡大が、日本の観光業にどのような影響を与えたか答える。▶ ボーキサイトをアルミニウムにするにはどのような製造工程が必要かを説明。▶ アメリカ合衆国で見られるように、先端技術産業が特定の地域に集積する理由を説明。▶ 1994年から2020年の間、北米自由貿易協定 (NAFTA) によってアメリカ合衆国の企業がメキシコに進出するようになった理由を説明。
高崎経済 大学 (中期)	6	500字 程度 (推測)	80字 前後 (推測)	▶ 「モノカルチャー経済」とは何かと、その短所を述べる。▶ 「アパルトヘイト」に関して説明。▶ カナート (カレーズ) の仕組みを説明。▶ アメリカ合衆国における1965年と2013年の肉牛の州別飼育頭数の図形表現図をもとに、肉牛の飼育がさかんな地域が変化した背景を述べる。▶ バイオエタノールがカーボンニュートラルな燃料とされる理由を述べる。▶ アマゾンにおいて発生した「ブラジルの水俣病」と呼ばれるのはどのような問題かを説明。
東京都立 大学 (文系)	12	1500 字程度 (推測)	125字 前後 (推測)	▶ 地形図読図 [徳島県美馬市脇町付近の地形図をもとに、地図中の破線で囲った範囲の治水地形分類図の3つの凡例が「旧河道」、「後背湿地」、「自然堤防」のいずれかを判定し、その判断理由を答える。図中の大谷川が「かれ川」となっている理由を説明。図中の河川 (吉野川) の両岸に連続して見られる竹林が果たしている防災上の役割を具体的に説明。脇町の伝統的町並みの写真をもとに、このような町並みがこの場所に成立した理由を自然条件と人文条件をふまえて説明]。▶ 大陸ごとの高度別面積割合を示した図をもとに、アジア、南アメリカ、オーストラリアに該当するものを答え、その判断理由を説明。▶ 地図中の線分PQ (日本列島南方の緯線) に沿った海底地形の断面図をもとに、PQ間の海底地形について説明 (指定語句：海溝、海洋底、太平洋プレート、大陸棚、フィリピン海プレート、ユーラシアプレート)。▶ 地図中の線分RS (アフリカ大陸中央部の赤道をまたぐ経線) に沿って分布する気候について、低圧帯と高圧帯の分布を考慮して説明。▶ 国別の栄養不足人口割合を示した階級区分図をもとに、食料不足が深刻な地域がどのように分布しているかを述べ、その要因として考えられることを2つあげろ。▶ カカオ豆、コーヒー豆、パーム油の生産上位国を示した表をもとに、特定の農産物生産量が多いにもかかわらず栄養不足人口の割合が高くなる理由を説明。▶ アメリカ合衆国の州別の肥満人口割合と世帯当たり所得の階級区分図をもとに、アメリカ合衆国における肥満の分布傾向とその要因を述べる。▶ 日本の品目別食料自給率の推移を示したグラフをもとに、その変化と背景を述べる。▶ 都道府県別の食料品販売店へのアクセスが困難な高齢者人口の割合の図をもとに、この問題が深刻な地域の特徴と発生要因を述べる。
東京都立 大学 (理系)	11	1200 字程度 (推測)	120字 前後 (推測)	▶ 地形図読図 [地理院地図 (千葉ニュータウン中央駅付近) をもとにAからHまでの地点を結ぶ移動経路の最高点と最低点の比高と、そのように判断した理由を答える。地点Cの集落 (向新田) の成り立ちを地名から判断して答える。地点Eから半径300m以内に見られる主な農地を地図記号から判断して2つあげ、そのような農地利用が成立した理由を自然条件に注目して答える。地点A付近の整然とした区画の住宅地と地点DとF付近の細長く広がる集落の集落形態の違いが生じた理由を、自然条件と人文条件から説明]。▶ ナイル川にダムが建設されたことによって、下流域や河口域で生じた問題を2つあげ、生じた過程とともに答える。▶ 赤道付近にあるにもかかわらず、キリマンジャロ山などの山頂付近に氷河が形成されている理由を答える。▶ アフリカ大陸の宗教と言語について、北回歸線付近と南回歸線付近との間にみられる違いを答える。▶ 国際的な企業であるA社のスマートフォンやパソコンに使われる電子部品を製造する事業所の数を、都道府県別に示した地図から読み取れる、電子部品を製造する事業所の立地傾向について説明。▶ A社の本社のあるアメリカ合衆国のシリコンヴァレーにICT産業の研究開発部門が集積する背景について答える。▶ 日本からの半導体製造機器輸出額の国・地域別推移を示したグラフから、ア国 (中国) への輸出額が2020年以降急増している背景を答える。▶ 2010年のイギリスでのアンケート調査をもとに作成した、ネットスーパーを使ったことのない回答者と頻繁に使う回答者の最寄りの実店舗までの平均距離を示した表から、ネットスーパーの利用について読み取れることを答える。